

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年5月17日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年5月16日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校 (日本語名) 英語(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月初旬～12 月下旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	32099
創立年	1846

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料		円	協定留学のため無料
宿舍費	9313	1,400,000 円	
食費		200,000 円	自炊して抑えた
図書費		0 円	教科書はなかった
学用品費		円	
携帯・インターネット費	200	30,000 円	
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	200	30,000 円	ほとんど買わなかった
医療費	440	66,000 円	
保険費		125,000 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	30,000	300,000 円	
ビザ申請費		60,000 円	SEVIS を含む
雑費		100,000 円	飲み代とか
その他		円	
その他		円	
合計		2,311,000 円	

## 渡航関連

渡航経路
<b>往路 出発地:</b> 成田 <b>目的地:</b> BUF <b>経由地:</b> DFW <b>復路 出発地:</b> JFK <b>目的地:</b> 羽田 <b>経由地:</b>
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:  料金:  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: アメリカン航空   料金: 102,560  復路 航空会社: JAL   料金: 155,226                      ∴ 合計: 257,786
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:    ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: 各航空会社の HP) <input type="checkbox"/> その他(    )
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Goodyear) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
寮を決めるタイミングで、空いているところがこしかなかった。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
留学前は誰かとルームシェアをするのが非常に嫌で、2 人部屋に決まってすぐに現地の留学担当者に部屋を変えられないかなど相談して非常に不安だったが、幸い同居人がいい人だったのもあり、今ではそこまで気にする必要がなかったと思った。また、自分の場合は 2 学期目から同居人が部屋を出たので、2 人部屋を 1 人で使うことができた。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: Well-Now)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 財布を大学内で紛失したが、大学内の警察に相談したら届出があり回収することができた。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友達や大使館からくるメールが主な情報源だった。財布をなくした際は、大学内のいろいろな職員に聞いて、大学内の警察にも行った。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットはよく機能していたので、ネットが繋がらないことはなかった。たまに接続が悪くなるがそれは日本でも同じことだと思う。寮以外のWIFIは空港しか使わなかったが、空港内のWIFIもよく機能していた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で開設した銀行口座に、足りなくなったら親から振り込んでもらっていた。銀行口座は特に解説する必要はなかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

自分は敏感肌なので自分に合った化粧水などの保湿剤やクリームを持っていくと良いと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 一部の医学、法学、芸術などの授業は履修制限があった	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fantastic World of Japanese Anime	素晴らしい日本アニメの世界
科目設置学部・研究科	AS
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回
担当教授	Mimi Okabe
授業内容	日本のアニメについて学ぶ
試験・課題等	Quiz3 つ、レポート 2 つ、期末テスト 1 つ
感想を自由記入	慣れ親しんだアニメを海外の視点で分析しながら視聴して学ぶような授業だった。非常に楽しかったし、課題やテストなども簡単だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Environment Economics	入門環境経済学
科目設置学部・研究科	ECO
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Aisling Winston
授業内容	環境経済学の基本を学んだ。最初の授業でグループ分けされ、学んだ内容をもとに最後にプレゼンする。
試験・課題等	Quiz3つ、最終プレゼン1つ
感想を自由記入	基本であるが、学ぶ内容は非常に幅広く環境経済学に興味がある人にはぜひ受講してほしい。難易度も日本でミクロマクロを学んでいる人なら難なく突破できると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Spoken English	英会話
科目設置学部・研究科	ELI
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Victoria Long
授業内容	毎授業ごとに熟語の使い方を1つずつ学んだ。また、カジュアル・フォーマル2種類のプレゼンテーションをそれぞれ1回ずつ行った。
試験・課題等	プレゼンごとにアウトラインの提出が求められた。
感想を自由記入	正直あまり英語力の向上はこの授業からは見込めないと思う。ただ生徒同士の距離は非常に近いので友達を作りたい人は受講してもいいかも知れない。授業難易度自体は非常に楽であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Internship Practicum		日本語授業サポート	
科目設置学部・研究科	JPN		
履修期間	Fall2023		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュータリング (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が1回		
担当教授	Chihiro Heckman		
授業内容	4・5人で1グループになり、2週間に一回、授業を自分達のみで運営する。日本語の発話機会を増やすことが目的なので、それに沿った授業内容を運営する。		
試験・課題等	各授業後に振り返りレポート。最後に最終レポート。		
感想を自由記入	自分で授業を作るというのが非常に新鮮で面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Fandom in Japan		日本文化	
科目設置学部・研究科	AS		
履修期間	Spring2024		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Mimi Okabe		
授業内容	日本のオタク文化について過去を振り返りながら学んだ。		
試験・課題等	quiz4つ。レポート3つ。		
感想を自由記入	日本にいると意識していないことを学べた。また、そもそもこのような授業が日本にはあまりないと思うので、非常に新鮮で面白い授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Money & Banking	金融論
科目設置学部・研究科	ECO
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Yiyuan Wang
授業内容	お金の役割から、銀行の役割まで幅広く学んだ。金利や債権価格などについて詳しく学ぶため、ミクロやマクロに近い授業内容でもあったと思う。
試験・課題等	Homework4つ、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	経済を証券・債権・金利を通して幅広く学ぶため、投資に興味がある人にとっては非常に面白い授業であったと思う。また、ミクロやマクロの復習としても良い授業だったと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Internship Practicum	日本語授業サポート
科目設置学部・研究科	JPN
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュータリング(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が5回
担当教授	Chihiro Heckman
授業内容	時間中はチューターの部屋に座り、部屋にきた日本語受講者の日本語学習のサポートをした。また、学期中に3回ある日本文化交流会の主催をする。
試験・課題等	交流会の企画・スライド作成、期末振り返りレポート
感想を自由記入	正直あまり有意義ではなかった。日によっては全く日本語学習者がチュータリングに来ないにもあった。ただ、労力は少ないので国際交流をメインにしたい人は受講しても良いと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Urban Planning and Environment Design		環境都市開発	
科目設置学部・研究科	END		
履修期間	Spring 2024		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	リモート講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Xuanyi Nie		
授業内容	都市開発がどのように行われてきたのか、歴史を通して学ぶ。		
試験・課題等	毎授業ごとに Post Discussions と Lab Exercises を提出しなければいけない。また、試験はなく中間と期末レポートのみである。		
感想を自由記入	都市部がどのように開発されてきたのか歴史を通して学ぶことで、都市開発に対する理解が向上する。面白いと言われてれば、個人的には面白く無かった。教授の訛りも割とある。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
友達、先輩、インターン先の上司
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
業界はまだ絞っていない
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
いろいろな業界をみた上で、就職先を決めたいと思う
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	TOEIC 勉強
	4月～7月	TOEFL 勉強
	8月～9月	TOEFL 勉強
	10月～12月	TOEFL 受験、出願、選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種
	8月～9月	滞在先の確保、出国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由としては、第一志望のところ学内選考の面接で落ちてしまったというのが正直なところでは、第2志望に選んだ理由は2つあります。1つ目は世界一の経済大国であるアメリカの視点から経済学を学んでみたいということ。2つ目は、私が田舎出身ということもあり都市部よりは落ちついたところの方が自分にはあっていると思ったからです。しかし、2つ目の理由について、実際に長期間住んでみると、カリフォルニアなどもっと都会の遊ぶ場所がたくさんある場所の方がよかったですと少し後悔しています。日本でもそうだと思いますが、車を持っていない田舎生活は想像よりもつまらないです。もちろん友達が車を持っていたので近くのショッピングモールなどへ行くことはできましたが、逆にいうと自分一人ではどこにも行けず、非常に窮屈な思いをしました。

留学中にボストンキャリアフォーラムへ参加し、1社から内定をいただきましたが、ボスキャリアに参加している業界は限定的であったため、帰国後に1年休学してよりじっくり就職活動をしたいという思いから内定を辞退させていただきました。3年生から留学を始める人は就活についての不安があると思いますが、どのように自分の就活を進めていくかを留学前にある程度決めておく心が楽になると思います。また、私のように帰国後に休学して就職活動をするような人も、ボスキャリアはとてもおすすめです。単純にいろいろな社会人の話を聞くことはためになりますし、帰国後に就職活動するときの自信にもつながると思います。

留学生活で辛かったことは、やはりご飯の違いです。ただ、アジアンマーケットに行けば醤油・味噌・酒・鶏ガラの素など日本と全く同じ調味料が手に入るので、簡単な日本食なら自分で自炊して再現できます。私は白米が大好きなので炊飯器も現地に到着してすぐにAmazonで購入しました。しかし、アメリカには細切れ肉や、バラ肉などの形で肉が売られていないので、完全再現はできません。トロントなどに行けば日本人が経営している日本食のレストランやラーメン屋があるのですが、値段が非常に高いのでそういったものはあまり食べませんでした。胃腸のあまり強くない方はアメリカの脂っこい食べものに不安を感じるかもしれませんが、納豆とかもアジアンマーケットにあるので工夫次第で乗り越えられると思います。実際私は、食べるものはほとんど自炊した野菜炒めと納豆やキムチでした。逆に現地のものをメインに1~2週間食事を取っていると胃の調子があまり良くなかったです。

TOEFL や IELTS の試験は険しいかも知れませんが、結果を気にせずどんどん試験を受験した方が良いです。方法を間違えなければ努力は結果に結びつくと思うので、頑張ってください。